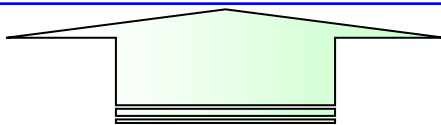


川の再生の目標

アウトカム

県民誰もが川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる 川の国埼玉の実現

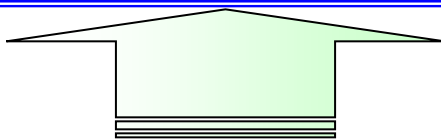
- 川が地域の共有資産に昇華
- 地域による持続的・自立的な改善行動、維持管理



アウトプット

「川の再生」県民運動となる

- 良好な100箇所の水辺が実現
 - ・「清流復活」「安らぎと賑わいの空間創出」
- 県内各地での水辺再生、連携・協働の実現



インプット

水辺再生100プランの推進 モデル事業の実施

(H20~21年度の2カ年で実施)

- ・芝川、藤右衛門川、柳瀬川、元荒川(県土整備部)
東京葛西用水(農林部)でモデル事業5箇所を実施。
- ・川が確かに変わったということが目に見えるようにする。
- ・効果を最大限にアピールする。

部局連携事業の実施

- ・H20年度県土整備部は部局連携事業等15箇所を実施。
- ・計画的な川の再生・環境保全を図る。

県内全域を対象とした川の再生

各地域で川の再生の 気運醸成

- ・モデル事業の効果を戦略的にPR
(現地見学会や研修会の開催)
- ・マスコミ等を活用した積極的な
情報発信
- ・川の再生について、県内各地で
議論の場を創出